

● 内政

1 選管、記入済み投票用紙の存在を否定

7月1日、ザンビア選挙管理委員会は、投票用紙を余分に印刷し、記入済みの投票用紙を用意する計画を立てていたとの疑惑に対し、事実ではないと否定した。投票用紙の印刷は、各政党の代表者及び選挙監視団による監視のもと行われている。(7月2日付 Daily Nation)

2 憲法裁判所、公認証明書の署名に関する選管の指示を容認

7月3日、憲法裁判所は、政党から立候補する者の公認証明書には、政党の党首と幹事長の双方が署名しなければならないとする選挙管理委員会の指示を認める判決を下した。(7月4日付 Zambia Daily Mail)

3 大統領選挙の投票用紙の印刷を完了

7月6日、アラブ首長国連邦の印刷会社は、大統領選挙に用いられる投票用紙の印刷を完了した。(7月7日付 Times of Zambia)

4 副大統領、ヘリ墜落事故から無事生還

7月9日、ナルマンゴ副大統領を乗せたヘリコプターが北東部ムチンガ州・ナコンデを飛行中に墜落した。搭乗していた8名は全員無傷で、同副大統領も無事だった。(7月9日付 Times of Zambia)

5 大統領、スコット元副大統領を追悼

7月15日、ガイ・スコット元副大統領が病気のため82歳で逝去した。ヒチレマ大統領は、スコット氏を「国を愛し奉仕に身を捧げた真の愛国者」と評し、追悼した。(7月16日付 News Diggers)

6 スコット元副大統領の国葬が執り行われる

7月20日、ガイ・スコット元副大統領の国葬が首都ルサカ市内の聖十字アングリカン大聖堂で執り行われ、遺体はレオパーズ・ヒル記念公園に埋葬された。

7 国民議会議員7名と自治体首長6名が無投票で当選

7月20日、選挙管理委員会は、総選挙において、国民議会議員7名、自治体首長6名、地方議員176名が、他の立候補者がいなかったため無投票で当選したことを発表した。(7月21日付 News Diggers)

8 選管、北部州カプタでの選挙活動停止措置を解除

7月22日、6月29日の死亡事案を受けて7月3日より行われていた野党統一繁栄国民和解党(NRUP)の選挙活動停止措置について、選挙管理委員会は同措置を解除した。(7月23日付 Daily Nation)

9 投票用紙がザンビアに到着

7月29日、総選挙で用いられる投票用紙の第一便を乗せたアラブ首長国連邦ドバイ発のチャーター機がルサカに到着した。(7月30日付 Times of Zambia)

● 外交・対外関係

1 EU選挙監視団がザンビアに到着

7月15日、ザンビア政府の要請により派遣された欧州連合選挙監視団(EUEOM)は外務・国際協力省を訪れ、同省のマーガレット・ミヨバ事務次官を表敬訪問した。同監視団は欧州議会議員のマイケル・マクナマラ主席監視員が率いる。(外務・国際協力省プレスリリース)

2 国連持続可能な開発のためのハイレベル政治 フォーラムに参加

7月15日、ニューヨークの国連本部で、持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムの閣僚級会合が開幕した。ザンビアからは、水開発・衛生省のロマス・カマンガ事務次官、地方自治・農村開発省のガブリエル・ポレン事務次官らが参加した。両次官は同会議において、SDGsのローカライゼーションと気候変動に対応したインフラ・水管理について、ザンビア政府の主張を述べた。（外務・国際協力省プレスリリース）